

**【活動方針・重点課題】**

新型コロナウイルス感染症も発生から 3 年が過ぎ、幾度もの波を繰り返し、当初の専門家の予想とは異なり、感染者数は収束ではなく、その都度、波は高くなっています。しかし、以前のように緊急事態宣言が発せられ、社会・経済活動が止まることはなくなりました。ワクチン接種や新薬の承認、様々な感染予防対策により、ウィズコロナの生活に良くも悪くも慣れてきた結果だと言えます。しかし、私たちの多くは病院、介護施設等に勤務していることから、引き続き、万全の感染予防対策を講じていかなければなりません。今年度の士会運営も感染状況を見ながら、その都度、対面、オンライン、ハイブリッド開催を組み合わせ、場合によっては、中止や延期の判断もしながら進めてまいります。

本会は、今年度、創立 55 周年を迎えます。これまで、5 年毎の周年事業では、式典、祝賀会を開催してきましたが、昨今の感染の様子から、祝賀会は実施が難しいことから、総会時に表彰式のみを行います。

理学療法士の活動の場は、それぞれが所属する病院や施設はもとより、地域包括ケアシステムにおける介護予防事業、地域ケア会議、学校保健や部活動のサポート、スポーツ現場でのメディカルサポート、企業における腰痛対策、被災地でのリハビリテーション支援等々、より外に広がりを見せています。今後の需給バランスを考えた時、これらが、新たな職域として確立するためには、安定した委託・受託の仕組みが必要です。依頼があった時に速やかな派遣を可能にするには、地域における日頃からの連携が重要になります。管理者ネットワークがこのような時に機能するよう、引き続き、構築・活用を進めていきます。また、提供されるサービスは、期待されるに値する質が求められます。卒前の養成課程では学ぶことの少ない、これらの活動に対し、適切な提供ができるよう研修の機会を検討していきます。

2025 年を目前に控え、地域包括ケアシステムの確立は喫緊の課題です。他職種と協働して、そこに向かうためにも、北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）は窓口としての機能を果たし、私たちは理学療法士に求められている専門性を適切に発揮していけるよう、それぞれに必要な事業を展開していきます。

昨年開始された新生涯学習システムは、士会承認症例検討会や研修会等、承認申請も徐々に増え、新人教育や登録理学療法士更新の準備が各施設でも進められていることが分かります。ただ、このシステムにおいて重要な役割を果たす登録理学療法士が 1 人もいない施設や少数しかいない施設もあり、広く地域でも学習を進め、登録理学療法士を増やしていくことが重要です。学術局、教育局を中心に生涯学習の管理、多くの学びの機会を提供し、サポートしていきます。

理学療法士の処遇改善や職域の維持、拡大のためには、私たちの政策を各所に伝えていくことが必要です。そのためにも、引き続き、北海道理学療法士連盟と連携し、政治との関わりの場も持っていく予定です。

今年度もコロナウイルス感染症の状況を鑑み、新たな事業も含め、積極的に各種事業に取り組んでまいりますので、会員の皆様の一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

**1. 管理者ネットワークの構築、整備、有効活用**

地域の医療機関・介護・福祉サービスの連携のためには、日ごろからの管理者間の情報共有、協力が重要です。急性期、回復期、生活期といった病期別や近隣の施設等、管理者同士が情報交換できる場を提供するためにも、管理者育成推進部が中心となり、より多くの管理者が登録したネットワークを構築し、地域包括ケアシステムへの対応や地域における理学療法士の育成等に活用できるよう整備していきます。

**2. 地域包括ケアシステム関連事業、装具相談窓口設立事業の推進**

地域包括ケアシステム関連事業は、引き続き、北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）を窓口に対応を進めます。HARP で受託している地域リハビリテーション指導者養成等事業の地域ケア会議アドバイザー養成研修や介護予防アドバイザー養成研修、地域リハビリテーション連携強化研修会、地域包括ケア推進部の推進リーダー導入研修会や地域ケア会議リーダー導入研修会を積極的に受講いただき、派遣登録の上、住民主体の自主グループ育成支援や各市町村事業への協力をお願いいたします。

また、昨年より日本義肢装具士協会北海道支部と協議してきた装具相談窓口設立事業において、義肢装具士と連携し、窓口設立のための準備を進めていきます。

### 3. 新生涯学習システム、学術・教育活動の推進

新生涯学習システムが始まり、1年が過ぎました。すべての会員が前期研修、後期研修の受講や実地研修、登録理学療法士制度、認定理学療法士の教育機関等、新たな仕組みを理解し、学習を進めているでしょうか。それぞれの施設で研修、症例検討会等を盛んに進めているところ、全く実施できていないところ、様々だと思います。質の向上、担保のためには、継続して学ぶことが求められます。新入会員は、確実に前期・後期研修を進め、登録理学療法士をめざしていただきたいところですが、そのためには管理者を含め、先輩たちがシステムを理解し、適切な指導をしていかなければなりません。学術局、教育局では、各支部とも連携して制度の周知、学習の援助を行います。

また、昨年度は、徐々に対面での事業を開催することができました。今年度も対面での事業運営を基本に感染状況を見ながら安全に開催できるよう、引き続き、オンライン、ハイブリッドも考慮に入れ、進めます。

### 4. スポーツ支援の活動範囲の拡大

これまでも北海道マラソン救護班や各支部での高野連メディカルサポート等を実施してきましたが、学校保健分野、部活動や学校体育へのサポート、パラスポーツでも理学療法士の関わりの少なかった競技等、スポーツ支援の活動範囲の拡大をめざします。

### 5. 札幌支部再編の検討

札幌支部は、本会会員の約半数にあたる 3,400 名ほどが所属しています。大半の県士会よりも会員数は多く、士会活動との重なり等もあり、支部として活動することが難しい状況が続いています。昨年度より、「札幌支部再編に関する検討委員会」を立ち上げ、他支部の意見もうかがいながら、検討をいただいています。答申を受け、再編、運営方法等、具体的検討を進めます。

### 6. 北海道理学療法士連盟との連携強化

理学療法士の処遇改善、職域維持・拡大のためには政治との関わりは欠かせません。引き続き、北海道理学療法士連盟と連携し、国政や道政に対し、理学療法士に関わる政策を伝え、実現できるよう進めていきます。

### **《令和5年度重点事業計画》**

1. 管理者ネットワークの構築、整備、有効活用
2. 地域包括ケアシステム関連事業、装具相談窓口設立事業の推進
3. 新生涯学習システム、学術・教育活動の推進
4. スポーツ支援の活動範囲の拡大
5. 札幌支部再編の検討
6. 北海道理学療法士連盟との連携強化

# 令和5年度（2023年度）事務局事業計画

事務局

局長

小林 巧

## 【活動方針・重点課題】

新型コロナの影響によっていまだ事業実施形態（対面あるいはweb）の判断が難しい状況にありますが、可能な限り各部局、支部の意向を踏まえた形で事業が円滑に進むよう事務局として援助します。

昨年度より新会員管理システムが稼働していますが、いまだ不具合も多い状況です。しかし、会員に不利益が生じないよう日本理学療法士協会と連携を取りながら適切な対応に努めます。

事務局で所管している定時総会については、近時の状況により開催方法を検討します。また、今年度は士会創立55周年であり、総会時に各種表彰を実施いたします。新年交礼会については、適切な時期に開催可否をお示しいたします。また、事務局として、より円滑な事業実施が可能となるよう事務処理機能の強化、業務内容の整理、各種規定等の見直しなどを実施していききたいと思います。

例年同様、北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）の基金事業並びに市町村からの委託事業に関する事務処理も対応してまいります。

各部局、支部の活動が円滑に進むよう、事務局として対応していききたいと思います。

## 【各部事業】

### 〈総務・財務部〉

#### 《公1：医療保健福祉事業》

- ・行政等が設置する各種諮問委員会等への委員の派遣推薦事務
- ・専門職派遣事業
- ・北海道リハビリテーション専門職協会介護予防事業支援（札幌市分）

#### 《公2：学会・研修会支援事業》

- ・事前参加システム決済代行支援
- ・事業稼働日当交通費支払業務

#### 《その他事業》

- ・事務局会議
- ・学術奨励基金（学術奨励賞、社会分野奨励賞、養成校優秀賞）
- ・メルマガ配信事業（緊急時のFAX通信を含む）
- ・常設委員会、特別委員会
- ・新人歓迎会支援
- ・会計部長業務支援
- ・監督官庁・関連団体との渉外活動
- ・代議員総会の企画運営
- ・理事会、常任理事会、三役会議
- ・法人監査
- ・文書管理（発行文書、受領文書、会議録、議事録、報告書など）
- ・会員管理（異動、慶弔、主催共催事業参加状況など）
- ・他部局支援（受講受付、発送業務、集計業務、ニュース校正支援など）
- ・財務管理（財務執行、予算、事業支出・収入、会費、租税公課、補助金など）
- ・新年交礼会の企画運営
- ・ホームページ管理

## 【関係団体協力事業】

- ・北海道総合在宅ケア事業団への協力及び事業参加
- ・北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会への参加協力
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会への参加協力
- ・北海道肢体不自由児者福祉連合協会への参加協力

# 令和5年度（2023年度）学術局事業計画

学術局

局長

橋田 浩

## 【活動方針・重点課題】

学術局では新生涯学習制度について、教育局や各支部との学術・教育部担当者と連携を図っておりますが、今年度も引き続き会員の皆様への新生涯学習制度の情報周知を進めて参ります。また、会員自身が自己研鑽を行い、成長することができるよう事業を展開致します。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学術局事業は遠隔会議ツールを利用した事業展開を行って参りましたが、令和4年度においては対面事業の再開を目指しました。第73回北海道理学療法士学術大会はハイブリッド開催とし現地で400名に近い参加者を得ることができました。専門領域部事業についても同様に対面事業を企画致しました。コロナウイルス感染の影響により講習会の延期や中止もありましたが、対面事業を再開することができました。令和5年度も対面での事業運営を中心に考え、学術大会をはじめ学術研修大会、技術講習会を開催致します。また、技術講習会においては本会会員の参加人数が伸び悩んでおりますので、理学療法における評価、治療技術の重要性を会員の皆様に周知できるよう活動の充実を図って参ります。学術誌「北海道理学療法」においても編集、発刊作業を行い、会員の研究成果報告や症例報告の機会を提供するとともに投稿しやすい環境を整えて参ります。

学術局共通においては1)教育局との合同会議ならびに各支部の学術教育部担当者ととの会議を開催いたします。学会研修部においては、1)学術大会の開催および開催計画支援、2)学術研修大会の開催および開催計画支援、3)学術大会演題登録・査読システムの活用による質の高い発表内容の充実、4)学会運営の担当や負担軽減について検討致します。学術誌部においては、1)学術誌部会議による投稿者数の増大の検討、2)編集会議による投稿規定の見直し、3)北海道理学療法第40巻の編集・発刊作業を致します。専門領域部においては、1)技術講習会の運営、2)新生涯学習制度を考慮した技術講習会の企画立案を進めて参ります。

## 【各部事業】

### 〈学術局共通〉

《公2：学術振興事業》

- ・学術・教育局合同会議
- ・学術・教育局・各支部学術教育担当者会議

### 〈学会研修部〉

《公2：学術振興事業》

- ・学会研修部会議
- ・第74回北海道理学療法士学術大会（札幌支部）の開催支援
- ・第75回北海道理学療法士学術大会（日胆支部）の開催計画支援
- ・第76回北海道理学療法士学術大会（未定）の開催計画支援
- ・学会間の引継ぎ支援
- ・学術研修大会の開催支援および公募・採択
- ・学術大会演題登録・査読システムの活用による質の高い発表内容の充実

《収1：機器展示事業》

- ・第74回北海道理学療法学術大会機器展示

### 〈学術誌部〉

《公2：学術振興事業》

- ・学術誌部会議
- ・北海道理学療法の編集・発刊作業（第40巻）

### 〈専門領域部〉

《公2：学術振興事業》

- ・専門領域部会議

・各専門領域の技術講習会開催（第 236 回～246 回）

- 第 236 回「機能解剖からみる下肢疾患の理学療法評価-股関節・足関節に着目して」（2023 年 6 月～10 月）
- 第 237 回「エビデンスに基づいた車椅子シーティングの実践(仮)」（2023 年 6 月～7 月）
- 第 238 回「投球障害への理学療法-肩の場合、肘の場合-」（2023 年 7 月～9 月）
- 第 239 回「急性期～回復期における片麻痺者への装具療法」（仮）（2023 年 9 月～10 月）
- 第 240 回「パーキンソン病に対する評価と運動療法」（仮）2023 年 9 月～10 月）
- 第 241 回「整形外科疾患の痛みの評価とその対応」（2023 年 9 月～10 月）
- 第 242 回「片麻痺の評価と治療～姿勢制御に基づくアプローチ～」（2023 年 9 月～10 月）
- 第 243 回「小児急性期医療領域における理学療法介入」（2023 年 9 月 2 日～3 日）
- 第 244 回「心・大血管リハビリテーション」（2023 年 11 月～2024 年 2 月）
- 第 245 回「呼吸リハビリテーション」（2023 年 11～2024 年 2 月）
- 第 246 回「糖尿病重症化予防における理学療法」（2023 年 11 月～2024 年 2 月）

# 令和5年度（2023年度）教育局事業計画

教育局

局長

加藤 新司

## 【活動方針・重点課題】

教育部は、会員の卒後教育の一環を担い、日本理学療法士協会の生涯学習システムに合わせ基礎力向上のための研修会、講習会の企画から実施、管理まで行っていきます。さらに会員個人レベルの自発的な学習の援助や施設レベルでの研修会、講習会を推進していくことにより、士会、支部、施設、個人までの生涯学習システムを管理していくことを目指します。

職域教育部は、北海道内スポーツ関係と介護予防関係にフォーカスをあて他局とも協働しながら人材を育成していく若手育成事業としての運営を目指します。

事業予定として教育部は、昨年から実施している臨床実践基礎講習会を例年5領域から7領域に拡げて実施していきます。新生涯学習システム関連では前期研修の初期研修（従来の新人教育プログラム必須初期研修会、対面研修での受講を推奨）に対し研修を企画していきます。臨床実習指導者講習会は回数を減らし5回開催とし、生涯学習システム説明会に関しても昨年同様、継続事業として実施していきます。

職域教育部は、介護予防関係や道内スポーツ関連への傷害予防に向け、人材育成をはかるためスポーツ支援育成講習会2本と健康支援育成講習会2本を例年通り実施していく予定です。

2023年度の事業に関しては、昨年同様、基本的に対面形式での開催を考えていますが、感染症の状況次第でWebでも開催できるような準備を進めていきます。

## 【各部事業】

### 〈教育局共通〉

#### 《公2：学術振興事業》

- ・研修・講習会に使用する感染対策備品やWeb開始に備えたPC関連備品など

### 〈教育部〉

#### 《公2：学術振興事業》

- ・教育部会議

#### 臨床実践基礎講習会（7本）

脳卒中	受講定員 60名
神経筋	受講定員 60名
運動器	受講定員 60名
呼吸	受講定員 60名
心臓	受講定員 60名
がん	受講定員 100名
感染	受講定員 60名

#### 臨床実習指導者講習会（5回開催）

受講定員 400名

#### 《その他事業》

新生涯学習システム会員説明会（4回開催）	Web、対面形式
新人教育初期研修	受講定員 200名
履修管理業務支援（事務局と協働）	

### 〈職域教育部〉

#### 《公2：学術振興事業》

- ・職域教育部会議
- ・第35回スポーツ支援講習会 受講定員 60名
- ・第36回スポーツ支援育成講習会 受講定員 60名
- ・第20回健康支援育成講習会 受講定員 60名
- ・第21回健康支援育成講習会 受講定員 60名

# 令和5年度（2023年度）社会局事業計画

社会局

局長

近藤 和夫

## 【活動方針・重点課題】

社会局は理学療法士と社会（地域）、双方の窓口として、理学療法士が専門知識・技術をもって社会貢献する会員を支援するとともに、理学療法（士）の啓発を行うことに主眼をおいて活動しております。

来年度における新型コロナウイルスによる影響は予測できない状況ですが、例年の事業に加え新規事業の検討もしていかなければなりません。介護予防・健康増進支援部では「札幌刑務所社会復帰プログラム」への講師派遣事業がなくなりましたが、関連事業のニーズを調査し啓発活動に向けて積極的な働きかけを行なっていきます。企画推進部では、「理学療法の日」にあわせた社会局としての事業を検討しています。理学療法士の更なる周知を目的に「さっぽろ雪まつり」市民雪像にマスコットキャラクター「りっぴー」を登場させることを新たに検討していきます。広報部では、会員に着目される広報誌づくりを心がけ、広報活動で得たノウハウを会員に紹介していくことに取り組みます。災害リハビリテーション支援部では、大規模発生時のマニュアルを完成させ、研修については支部と連携し活動支援を行います。

## 【各部事業】

### 〈社会局共通〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・社会局会議

### 〈介護予防・健康増進支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・介護予防・健康増進支援部会議
- ・いきいき健康・福祉フェア2023への企画参入と出展
- ・けんこうフェスタへのスタッフ派遣
- ・STVラジオ「工藤じゅんきの十人十色」健康一口メモコーナー出演講師派遣・調整
- ・介護予防・健康増進関連事業へのスタッフ派遣・調整

### 〈企画推進部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・企画推進部会議（社会分野小委員会を含む）
- ・支部社会部長・社会局合同会議
- ・理学療法週間事業（支部との連携・支援・広報物品の調整）
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展への出展
- ・道民向け啓発セミナー1（小学生と保護者を対象）
- ・道民向け啓発セミナー2（雪まつりイベントへの参加）

《その他事業》

- ・会員向け啓発セミナー（学術大会におけるランチョンセミナー）

### 〈広報部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・広報部会議
- ・啓発用リーフレットの作成
- ・ホームページへ掲載する啓発原稿の作成

《公2：学術振興事業》

- ・土会ニュース「Northerner」の編集・発行、取材・撮影

### 〈災害リハビリテーション支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・災害リハビリテーション支援部会議

- ・大規模災害発生時マニュアルの作成

[災害時会員安否確認システムの構築、普及啓発活動（勉強会、情報提供、資料・動画の作成、提供）、災害時支援者名簿の作成]

《公2：学術振興事業》

- ・災害リハビリテーション支援部研修として、令和5年度は以下を予定する  
導入研修（オンライン開催）  
初期研修（オンライン開催）  
支部社会部事業等へのアシスタント  
（支部社会部等の災害リハ実技研修会時のアシスタント派遣・調整）



# 令和5年度（2023年度）職能局事業計画

職能局

局長

千葉 恒

## 【活動方針・重点課題】

職能局では、本会が重点課題として掲げている地域包括ケアシステム推進の支援および管理者ネットワークの有効的な活用に向けた活動を継続して行います。また、会員への職能に関する情報提供を充実させていくためにも、職能局事業と支部職能部事業の情報共有を図り、局と支部が協同しながら活動していけるよう支援していきます。特に札幌支部職能部へ移行が可能な事業を精査し、支部職能部が主体的に活動していけるよう準備を進めていきます。

昨年度に新設した管理者育成推進部では、管理者ネットワークの構築ならびに双方向による活用方法の検討を重点課題の一つとして掲げ、活用を検討していきます。また、これまで実施してきた生活期および札幌支部の管理者情報交換会を単発の事業として終わらせることなく継続し、さらに急性期および回復期の管理者情報交換会も新たに企画し、管理者同士が主体的に情報交換できる場を提供していきます。協会指定管理者研修会も継続して、開催していきます。職能団体としての意識向上を図る意味でも、会員の動向を調査し、職域別の会員数の分布や新入会員の入会状況などを分析し、会員へ情報を提供していきます。

職域事業部では、コロナ禍で今後も見通しがたたない日本理学療法士協会が主として進めてきた企業における肩こり・腰痛対策事業を、本会が主となり進めていく健康経営サポート事業へ転換し、今後のPTの職域拡大も見据え、現実的に実行可能な事業となり得るかを検討していきます。併せて、社会・医療関連情報、職場環境等の情報収集など、会員の職能関連施策に関する視野の拡大を図る活動も継続していきます。養成校の学生を対象とした介護保険領域の講話や実習指導者ワークショップを通して、介護保険領域の職場の魅力や情報共有を図る活動も継続していきます。妊娠中や子育てしながら働くPTへの支援の一環として、ホームページへの情報提供に加え、ワークショップの開催も検討していきます。また、定年退職後のPTを中心としたベテランPT人材バンク事業を新たに立ち上げ、人材不足に悩む施設とのマッチングを支援していくことで、今後の人材不足解消の一環として、持続可能な事業となり得るかを検討していきます。

地域包括ケア推進部では、会員への地域包括ケアシステムに対する啓発と、地域における介護予防やケア会議への参加を担う人材への研修を、今年度も継続していきます。また、装具相談窓口設立事業では、昨年度より日本義肢装具士協会北海道支部と協議を重ねてきました。各地域における装具に関するワンストップ窓口を各支部に設立し、義肢装具士にはアドバイザーとして介入してもらい、専門職同士が連携することで、生活期装具ユーザーの問題を解決していく仕組みづくりを重点課題の一つとして掲げ、推進していきます。そのためにも、今年度内に日本義肢装具士協会北海道支部との連携協定締結を目指していきます。

## 【各部事業】

### 〈職能局共通〉

#### 〈その他事業〉

- ・職能局部長会議
- ・職能局支部職能部長会議

### 〈管理者育成推進部〉

#### 〈その他事業〉

- ・管理者育成推進部会議
- ・施設管理者ネットワーク構築事業
- ・施設管理者ネットワーク活用事業
- ・協会指定管理者研修会検討会議
- ・協会指定管理者研修会（初級）
- ・会員動向把握事業

### 〈職域事業部〉

《公1：健康増進事業》

- ・健康経営サポート事業

《その他事業》

- ・職域事業部会議
- ・復職支援に向けた検討会議
- ・妊娠中や子育てしながら働く理学療法士対象ワークショップ
- ・理学療法士の職域偏倚緩和事業
- ・養成校での介護保険領域の講話
- ・介護保険事業所での実習指導者ワークショップ
- ・理学療法士の職域拡大に向けた啓発・提案事業
- ・ベテランPT人材バンク事業
- ・職能に関する情報提供事業

《地域包括ケア推進部》

《公1：健康増進事業》

- ・装具相談窓口設立事業

《公2：学術振興事業》

- ・介護予防推進リーダー導入研修会
- ・地域包括ケア推進部会議
- ・地域包括ケアを学ぼう
- ・地域包括ケアを学ぼう（中級編）
- ・地域包括ケア研修会（中堅・管理者）
- ・地域ケア会議リーダー導入研修会
- ・装具ユーザーのフォローアップに関する研修会

# 令和5年度（2023年度）健康スポーツ局事業計画

健康スポーツ局

局長

梅本 かほり

## 【活動方針・重点課題】

健康スポーツ局は、人生（ライフステージ）で運動習慣を支援・啓発する「生涯スポーツ支援部」と障がいを持った方への適切な運動を支援・啓発する「障がい者スポーツ支援部」の2つの部で構成され、地域健康保健に寄与することを目的としています。

生涯スポーツ支援部は、運動習慣を含むスポーツ領域での地域健康保健に寄与できるよう活動してまいります。具体的には、北海道マラソン救護班や高野連メディカルサポート活動の支援を継続し、スポーツ関連事業へのスタッフ派遣などをしながらスポーツメディカルサポートに関わる会員の情報を集約しネットワークを構築していきます。あわせて、スポーツ関連事業へ参加したい若手理学療法士に対し、実際の現場の見学や指導が受けられる場を提供し、サポートの輪を広げていきたいと考えています。また、女性アスリートに対するサポートの必要性から、女性理学療法士のスポーツメディカルサポートへの参加も増やしていきたいと考え、会員同士のネットワーク構築を進めていきます。今年度は学校保健分野や部活動・学校体育へのサポートも視野に入れて活動範囲を広げていきます。

障がい者スポーツ支援部は、地域のパラスポーツ活動を支援する他、パラスポーツ分野で活躍する理学療法士の情報管理や派遣調整を行い、地域健康保健に寄与できるよう活動してまいります。具体的には、道内で行われているパラスポーツイベントに出向き参加者のサポートをすること、またパラスポーツでの理学療法士の活躍を紹介するなどの情報配信、理学療法士の関わりが少ないパラスポーツへのきっかけ作りの他、パラスポーツ体験会等の実施によりパラスポーツへの関心度を高めるなど啓発活動も行います。また今年度は日本パラスポーツ協会の公認資格である中級障がい者スポーツ指導者の養成講習会を行い、パラスポーツに関わる理学療法士を増やしていきたいと考えています。

## 【各部事業】

### 〈健康スポーツ局共通〉

#### 《公1：医療保健福祉事業》

- ・健康スポーツ局会議
- ・支部健康スポーツ支援部長会議

### 〈生涯スポーツ支援部〉

#### 《公1：医療保健福祉事業》

- ・生涯スポーツ支援部会議
- ・北海道マラソン救護班活動支援事業
- ・高野連メディカルサポート支援事業（高野連メディカルサポート連絡協議会への参画）
- ・スポーツ関連へのスタッフ派遣調整事業
- ・スポーツ関連への派遣支援情報ネットワーク構築事業

### 〈障がい者スポーツ支援部〉

#### 《公1：医療保健福祉事業》

- ・障がい者スポーツ支援部会議
- ・パラスポーツ関連へのスタッフ派遣調整事業
- ・パラスポーツ関連への調査事業
- ・パラスポーツ支援ネットワーク構築事業
- ・PTのための中級障がい者スポーツ指導者養成講習会

# 令和5年度（2023年度）支部事業局事業計画

支部事業局

局長

阿部 隆宏

## 【活動方針・重点課題】

支部事業局は、各支部の事業計画や予算の立案と状況に応じた修正、決算報告などを支援します。令和5年度は新型コロナウイルスの影響も考慮しながら、対面開催やweb開催（ハイブリッド開催を含む）による事業を推進し、各支部に応じた学術・教育活動、社会・職能活動が円滑に行われるように支援します。また、支部と事務局間との連携、支部間の連携強化を図り、全道均一のサービスが展開されるように支援します。

## 【支部事業局共通】

《公2：学術振興事業》

- ・拡大支部事業局会議

## 【各支部事業】

### 〈道南支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道南支部健康スポーツ部会議（4月、6月、8月、10月予定）
- ・道南支部社会部会議（年3回）
- ・高野連メディカルサポート事業（年3回 春、夏、秋大会）
- ・道南支部理学療法週間事業（函館市NPOまつり出展参加）
- ・道南支部健康安全運転講座（春・秋）
- ・函館マラソンメディカルサポート事業
- ・南渡島地域リハビリテーション推進会議
- ・函館蔦屋書店 未来づくりマルシェ『人とつながる、未来とつながる』（11月頃開催予定）

《公2：学術振興事業》

- ・道南支部役員会議：4回（4月、7月、10月、1月）
- ・道南支部学術教育部会議：年5回（4月、6月、9月、12月、2月予定）
- ・道南支部症例検討会：年4回（5月、8月、11月、2月予定）
- ・道南支部学術教育部研修会：第1回～第4回（5月、9月、11月、1月予定）
- ・第9回 道南理学療法士学術大会（6月～9月）
- ・道南支部第1回社会部研修会「学校保健領域に対する理学療法（仮）」
- ・道南支部第2回社会部研修会「災害支援（仮）」
- ・道南支部第1回健康スポーツ部研修会「臨床・スポーツ現場に必要な股関節の評価と治療」
- ・道南支部第2回健康スポーツ部研修会「臨床・スポーツ現場に役立つコンディショニング」
- ・第5回 道南理学療法士学術研修大会（11～2月）「次代が求める理学療法 ～障がい・予防リハビリテーションの視点から～」（仮）

《その他事業》

- ・道南支部職能部会議：年4回（4月、7月、10月、1月開催予定）
- ・道南支部第1回職能部研修会：「理学療法士の職能に関する研修会 ①（仮）」（7～9月開催予定）
- ・道南支部第2回職能部研修会：「理学療法士の職能に関する研修会 ②（仮）」（12～2月開催予定）
- ・道南支部協会指定管理者研修会（開催は職能局判断）
- ・道南支部新人歓迎会：（6月～10月）

## 〈日胆支部〉

### 《公1:医療保健福祉事業》

- ・日胆支部理学療法週間事業（伊達市ふれあい広場 2022 ブース出展、市民公開講座）
- ・健考・健幸 DAY 2022
- ・日胆支部高野連メディカルサポート事業 3回（高野連室蘭地区大会 春季・夏季・秋季）
- ・日胆支部各種派遣事業（西胆振地域リハビリテーション推進会議ほか）
- ・日胆支部 社会部会議 1回
- ・日胆支部 健康スポーツ部会議 1回

### 《公2:学術振興事業》

- ・日胆支部 研修会 5回（日高1回、苫小牧1回 伊達1回、室蘭2回）
- ・日胆支部 症例検討会 3回（苫小牧1回、室蘭1回、地区合同1回）
- ・日胆支部 役員会 2回
- ・日胆支部 地区運営委員会 8回（苫小牧・室蘭・伊達、日高 各2回）
- ・日胆支部 学術・教育部会議 1回

### 《その他事業》

- ・日胆支部 職能部会議 1回
- ・日胆支部ニュースの発行 2回
- ・日胆支部 新人歓迎会 4回（苫小牧・室蘭・伊達・日高）

## 〈札幌支部〉

### 《公1:医療保健福祉事業》

- ・札幌支部健康スポーツ部会議（年3回）
- ・札幌支部社会部会議（年3回）
- ・清田区健康&介護予防フェア（10月頃）
- ・札幌支部理学療法週間事業～さっぽろ医療&福祉フェスタ～（7月）
- ・札幌支部高野連メディカルサポート：年6回（札幌支部予選、全道・南北海道大会：春季、夏季、秋季）
- ・札幌市立高校生職場体験（対象病院施設調整：7～9月）
- ・札幌地域包括ケア推進事業
- ・札幌支部派遣事業（随時）

### 《公2:学術振興事業》

- ・第10回札幌理学療法士学術大会（2月）
- ・札幌支部講習会：（第1回～第3回）年3回
- ・札幌支部役員会：年3回
- ・札幌支部学術教育部会議：年3回
- ・札幌支部事務部会議：年3回
- ・札幌支部症例検討会：年2回

### 《その他事業》

- ・札幌支部職能部会議：年3回
- ・札幌支部講師バンク・スタッフバンクの管理（随時）
- ・札幌支部地区懇談会
- ・札幌支部管理者研修会
- ・札幌支部新人歓迎交流事業

## 〈石狩支部〉

### 《公1：医療保健福祉事業》

- ・石狩支部社会部会議：年3回（4月・8月・10月）
- ・石狩支部理学療法週間 高校生理学療法見学・体験（7月～8月）
- ・石狩支部理学療法週間 介護予防事業（7月）
- ・北広島市元気フェスティバルへの協賛（8月）
- ・千歳市健康祭りへの協賛（9月）
- ・石狩いきいきフェスタへの協賛（10月）
- ・石狩支部健康スポーツ部会議 年3回（4月～3月）
- ・石狩支部健康スポーツ事業 ランニング教室 年1回

### 《公2：学術振興事業》

- ・災害リハビリテーション研修会（11月）
- ・石狩支部症例検討会 年2回（4月～12月）
- ・石狩支部講習会（年1回）
- ・石狩支部学術教育部会議（年4回）
- ・石狩支部役員会議：年6回（4月・6月・8月・10月・12月・2月）

### 《その他事業》

- ・石狩支部 3士会合同研修会：年4回（8～12月）
- ・石狩支部職能部会議：年3回（4～10月）
- ・石狩支部事務部会議：年3回（4～12月）

## 〈後志支部〉

### 《公1：医療保健福祉事業》

- ・後志支部社会部会議（年2回）
- ・後志支部健康スポーツ部会議（年2回）
- ・後志いきいき健康まつり 出展（7～10月）
- ・後志支部理学療法週間事業～介護予防教室（7～8月2ヶ所予定）
- ・後志支部健康スポーツ支援事業（7～10月）
- ・後志支部各種派遣推進事業
- ・後志地域リハビリテーション広域支援センターへの協力（協賛金納入他）

### 《公2：学術振興事業》

- ・災害リハビリテーション研修会（6～12月）
- ・後志支部第1回研修会（7～12月）
- ・後志支部第2回研修会（7～12月）
- ・後志支部症例検討会（年3回；7～8月、9～10月、1～2月予定）
- ・後志支部役員会議（年3回；4月、8月、12月予定）
- ・後志支部学術教育部会議（年3回）

### 《その他事業》

- ・後志支部職能部会議（年2回）
- ・後志支部第1回職能部研修会
- ・後志支部新年交礼会出席（小樽市医師会、柔道整復師会）
- ・後志支部新人歓迎会（開催予定日・開催形式はCOVID-19の動向を見て判断）
- ・後志支部事務部・会計部会議（年2回）

## 〈空知支部〉

### 《公1：医療保健福祉事業》

- ・空知支部社会部会議（第1回7月、第2回10月、第3回2月：3回）
- ・空知支部健康スポーツ部会議（第1回7月、第2回10月、第3回2月：3回）
- ・空知支部高校野球メディカルサポート（空知支部予選5月（春季）、7月（夏季）、9月（秋季）：3回）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（滝川市、7月）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（三笠市、7月）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（岩見沢市、9～10月）
- ・ふれあい広場くりやま（栗山町、11月）
- ・北空知スポーツ障害予防講座（滝川 10月）
- ・南空知スポーツ障害予防講座（三笠 1月）

### 《公2：学術振興事業》

- ・空知支部役員会議（第1回8月、第2回10月、第3回2月：3回）
- ・空知支部第1回研修会「脳卒中に対する骨盤・体幹へのアプローチ」（Web開催、5～7月）
- ・空知支部学術教育部会議（時期未定、1回）
- ・第7回空知理学療法士学術大会「地域理学療法」（会場未定、11月11日）
- ・空知支部第1回症例検討会（Web開催を予定、2月）
- ・空知支部災害リハビリテーション研修会（会場未定、2月）

### 《その他事業》

- ・空知支部全体集会（Web開催、6月～7月）
- ・空知支部職能部会議（時期未定、3回）
- ・空知支部第1回職能部研修会：「高校野球部のトレーナー活動について」（Web開催、9月）
- ・空知支部第2回職能部研修会：「在宅サービス事業所の代表としての活動で学んだ事・伝えたい事」（Web開催、2月）
- ・空知支部新人歓迎会（会場未定、5～6月）

## 〈道北支部〉

### 《公1：医療保健福祉事業》

- ・道北支部第1回健康増進事業（旭川市健康まつり）（5-9月予定）
- ・道北支部第2回健康増進事業（理学療法週間）（7月）
- ・道北支部健康安全運転講座（6月と9月の年2回、旭川市と士別市で開催予定）
- ・道北支部社会部・健康スポーツ部合同会議（全2回5,9月）
- ・道北支部高野連メディカルサポート事業（旭川・名寄・宗谷/5～9月予定）
- ・道北支部第1回スポーツ支援事業（旭川ハーフマラソン）（9月予定）
- ・道北支部第2回スポーツ支援事業（動画コンテンツ作製事業）（10月予定）
- ・道北支部第3回スポーツ支援事業（バーサーロペットジャパン）（3月予定）
- ・道北支部行政関連会議出席（上川中部リハ推進会議総会・住まいるイン旭川）
- ・道北地域リハ推進会議協賛（上川中部・宗谷）
- ・道北各種派遣推薦事業

### 《公2：学術振興事業》

- ・道北支部学術教育部会議（全3回5,7,9月）
- ・第6回道北支部理学療法士学術大会（12-2月）
- ・第31回全道理学療法士学術研修大会・第3回道北理学療法士学術研修大会（10-1月）
- ・道北支部学術教育部研修会（全6回7,9,10,11,12,1月）
- ・道北支部学術教育部研究支援研修会（7-2月）
- ・道北支部健康スポーツ部研修会（スポーツ支援スタッフ育成研修/11月）
- ・道北支部社会部研修会（災害リハビリテーションについて/5-11月）
- ・道北支部症例検討会（全2回11,12月）
- ・道北支部（地区）症例検討会（全2回7-2月）
- ・道北支部役員会議（全4回5,7,9,11月）
- ・道北支部拡大役員会議（2月）

### 《その他事業》

- ・道北支部会員情報交換会（12月）
- ・道北支部ニュース発行（6回）・編集会議（6回）・ホームページ更新
- ・道北支部関連団体式典参加（北都保健福祉専門学校入学式、卒業式、旭川医師会新春懇親会）
- ・道北支部職能部研修会（全2回8-12月）
- ・道北支部職能部会議（全2回5,9月）
- ・道北支部地区幹事合同会議（9-10月）
- ・道北支部新人歓迎交流会（4～5月）



## 〈十勝支部〉

### 《公1：医療保健福祉事業》

- ・十勝支部派遣推薦事業
- ・十勝支部理学療法週間事業（介護予防）：7～8月
- ・十勝支部高野連メディカルサポート事業：5月～10月
- ・帯広市介護予防派遣事業：5～3月
- ・十勝支部社会部会議（年1回）：4～3月
- ・十勝支部健康スポーツ部会議（年2回）：4～3月
- ・十勝支部訪問リハビリマップの作成と配布：11～12月

### 《公2：学術振興事業》

- ・十勝支部第1回研修会：8～9月
- ・十勝支部理学療法士学術大会：10～11月
- ・十勝支部第2回研修会：12～2月
- ・十勝支部症例検討会（年1～2回）：時期未定
- ・十勝支部役員会議（年5回）：4月～3月
- ・十勝支部学術教育部会議（年3回）：4月～1月

### 《その他事業》

- ・十勝支部会員名簿の作成と配布：8～9月
- ・十勝支部職能部会議（年1回）：4～3月
- ・十勝支部新人歓迎会：5～6月

## 〈釧根支部〉

### 《公1：医療保健福祉事業》

- ・釧根支部社会部会議（年2回 時期未定）
- ・釧根支部健康スポーツ部会議（年2回 時期未定）
- ・釧根支部理学療法週間事業（7月）
- ・くしろ健康まつり（10月）
- ・こう福祉21 厚岸町障害者（児）ふれあいフェスティバル（11月）
- ・釧根支部高野連メディカルサポート（春・夏・秋）
- ・釧路湿原マラソン大会サポート（7月）
- ・釧根支部小中学生対象健康増進・傷害予防ストレッチ（11月）
- ・釧根支部市役所社会部合同研修
- ・釧根支部派遣推薦事業

### 《公2：学術振興事業》

- ・釧根支部役員会議（年4回：4, 7, 10, 2月）
- ・釧根支部学術教育部会議（年2回）
- ・釧根支部メディカルサポートスタッフ育成支援講習会（4月）
- ・釧根支部第1回理学療法基礎講習会（時期未定）
- ・釧根支部第2回理学療法基礎講習会（時期未定）
- ・釧根支部災害リハビリテーション研修会（時期未定）

### 《その他事業》

- ・釧根支部事務部会議（年2回 時期未定）
- ・釧根支部職能部会議（年2回 時期未定）
- ・釧根支部職能部研修会（時期未定）
- ・釧根支部新人歓迎会（時期未定）

## 〈道東支部〉

### 《公1：医療保健福祉事業》

- ・道東支部香りゃんせフェスティバルへの出展(5月～7月予定)
- ・道東支部北見市健康まつりへの出展(7月～10月予定)
- ・道東支部網走市市民健康まつりへの出展(8月～10月予定)
- ・道東支部ハッカの日ジョイントコンサート(9月予定)
- ・道東支部北見市ふれあい広場への出展(6月～9月予定)
- ・道東支部きたみんと体操普及推進事業(4月～3月)
- ・道東支部理学療法週間事業～フリーペーパーへの投稿(4月～7月予定)
- ・道東支部社会部会議(年5回予定)
- ・道東支部社会部災害リハビリ情報共有会
- ・道東支部地域包括協働事業推進会議
- ・きたみんと体操指導士養成講座
- ・道東支部高校生対象のリハビリテーション見学(4月～10月予定)
- ・道東支部講師派遣事業の公文書発行

### 《公2：学術振興事業》

- ・第1回道東支部研修会(6月予定)
- ・第2回道東支部研修会(9月予定)
- ・第3回道東支部研修会(11月予定)
- ・第4回道東支部研修会(2月予定)
- ・道東支部支部役員会議(年4回予定)
- ・道東支部学術教育部会議(年5回：5、7、9、11、2月予定)
- ・道東支部リハ前置ケアプラン支援事業
- ・道東支部におけるスポーツ支援活動調査

### 《その他事業》

- ・道東支部ニュース発行(年3回：6、10、2月予定)
- ・道東支部職能部会議(年5回予定)
- ・第1回道東支部職能部研修会(テーマ：未定)
- ・若手理学療法士ネットワーク集会
- ・道東支部新人歓迎会(時期未定)